

11月
県議会
開会

県民の切実な願いを力に

村井県政の諸課題を問う

県美術館の移転断念

県民の力が県政動かす

宮城県美術館は、移転を断念し、現在地に残す方針が決まりました。これで知事が「政治生命」をかけるとした「宿泊税導入」と「県美術館移転」は、いずれも阻止することができました。県民の願いに依拠した運動と世論の力の大きさを内外に示す結果となりました。これは県民の力で県政を動かした記録として、永く歴史に刻まれることでしょうか。

知事のゴリ押しに対し、現地存続を求める市民運動が広く深く展開され、美術館の価値があらためて認識され、日増しに市民運動のエネルギーも高まりました。県議会では与野党問わず、効率優先に文化的価値を後景に追いやる県の考えに異論が続出しました。党県議団は県民の思いを毎議会に取り上げ、移転反対の論陣を張りました。

住民のいのちとくらしに直結する原発再稼働をはじめ、水道3事業の民営化や地域医療を壊す公立3病院の統合など、県民の未来がかかる大問題が目白押しです。党県議団は県政の転換めざし頑張ります。



〈一般質問〉



大内 真理

12月3日(木)
午前10時から

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止策について
2. 「新宮城の将来ビジョン」社会全体で支える宮城の子ども・子育て
3. 宮城県美術館をめぐる諸問題について
4. 女川原発再稼働問題とエネルギー問題

〈予算特別委員会・総括質疑〉



三浦 一敏

12月10日(木)
午前11時30分すぎ

〈最終日討論〉



天下みゆき

12月16日(水)
午後1時すぎ

●ぜひ議会傍聴に
おいでください



11月19日 福島原発事故避難者と懇談



11月19日 福島県の東日本大震災・原子力災害伝承館を視察

11月議会の日程(予定)

11月25日(水) 開会・本会議
26日(木) 常任委員会・本会議(先議)
27日(金)～12月2日(水) 休会
12月3日(木)～9日(水) 一般質問(土日は休会)
10日(木) 予算特別委員会・総括質疑
11日(金) 予算分科会
14日(月) 常任委員会
15日(火) 常任委員会・予算特別委員会
16日(水) 本会議・閉会

日本共産党 県議団ニュース

2020年11月 号外
発行：日本共産党宮城県県会議員団
(控 室) TEL 022(211)3523
FAX 022(268)6093
E-mai : info@jcpmk.jp